

問1 システム開発プロジェクトにおけるプロジェクトチーム内の対立の解消について

プロジェクトマネージャ（PM）は、プロジェクトの目標の達成に向け継続的にプロジェクトチームをマネジメントし、プロジェクトを円滑に推進しなければならない。

プロジェクトの実行中には、作業の進め方をめぐって様々な意見や認識の相違がプロジェクトチーム内に生じることがある。チームで作業するからにはこれらの相違が発生することは避けられないが、これらの相違がなくならない状態が続くと、プロジェクトの円滑な推進にマイナスの影響を与えるような事態（以下、対立という）に発展することがある。

PM は、プロジェクトチームの意識を統一するための行動の基本原則を定め、メンバーに周知し、遵守させる。プロジェクトの実行中に、プロジェクトチームの状況から対立の兆候を察知した場合、対立に発展しないよう行動の基本原則に従うように促し、プロジェクトチーム内の関係を改善する。

しかし、行動の基本原則に従っていても意見や認識の相違が対立に発展してしまうことがある。その場合は、原因を分析して対立を解消するとともに、行動の基本原則を改善し、遵守を徹底させることによって、継続的にプロジェクトチームをマネジメントする必要がある。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わったシステム開発プロジェクトにおけるプロジェクトの特徴、あなたが定めた行動の基本原則とプロジェクトチームの状況から察知した対立の兆候について、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べたプロジェクトの実行中に作業の進め方をめぐって発生した対立と、あなたが実施した対立の解消策及び行動の基本原則の改善策について、800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた対立の解消策と行動の基本原則の改善策の実施状況及び評価と、今後の改善点について、600字以上1,200字以内で具体的に述べよ。